

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	eravu名塩				公表日	2026年 2月 19日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		4つの部屋を療育で使用でき、集団活動と個別対応をすることができている。お子さん1人につき2~3畳の基準を満たしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		10人のお子さんに対して2名以上の職員が対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	全てではないが、おもちゃなどは棚にタイトルをつけて整理できている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日掃除をしている。子どもたちも思い思いの場所でリラックスして過ごしている。	備品や庭の整備が追い付いていない状況にあるので、今後計画を立てて取り組みたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		1人で過ごせる部屋、静かな部屋など、特性に合わせて過ごせる環境を用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		事業所で目標を設定し、反省も行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に1回実施している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	毎朝の共有にて職員間で意見交換を行っている。	パートの方がスプレッドシートを確認する時間が少ないのでその時間を毎週月曜日に設定する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	西宮市の定期監査や西宮市の他の事業所による評価を受け、業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	原則毎週1回、発達心理学の研修を行い、月1回、利用児へ提供する教材について研修を行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		児発管を中心に保護者にヒアリングを行いながら支援計画を作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		日々の療育やモニタリングの際のヒアリングにてアセスメントやニーズを分析し、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援計画作成会議には、児童指導員や管理者も参加し支援内容を検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	支援計画の目標に優先順位をつけ、計画に沿った支援を行なっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		WISCの結果や日々の療育などを見て、児童のアセスメントを行なっている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		児発管を中心に保護者にヒアリングを行いながらそれぞれのお子さんにとって適切な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		月2回チームで立案、準備をすることができている。	

（援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎週違うものを提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		必要があれば、留意事項に個別で対応する旨を記入している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝・昼の共有の時間に担当を確認し、連携している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	療育終了時に職員で簡単な振り返りを行い、翌日には時間を設けて必ず共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		リタリコやスプレッドシートに記入し、全員が参照できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6ヶ月に一度、モニタリングを行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	2	「地域交流の機会の提供」以外の3つを組み合わせ支援を行なっている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	自身で決めた過ごし方をボードなどに書き、見通しを立てて活動できるようにしている。また、子どもの目線に立った環境を設定し、自己選択ができるようにしている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	児童発達支援管理責任者が出席している。職員の配置や経験の都合上、普段直接関わっていない職員が会議に出ることもあるが、その場合は対象児童の状況を伝え、理解したうえで出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		訪問支援として小・中学校と連携できている。また、ななくささんや山下整形さんとも連携をとっている。	緊急時にかかることのできる病院をリスト化できていないので、今後作成する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		HPに掲載されている学校だよりや保護者から送られてくる予定表にて下校時刻の把握を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	幼稚園で書かれた個別支援計画を保護者から提供いただいたり、入学前の支援会議への参加や、支援学校の先生が見学に来られたりしている。また、支援内容をまとめた資料もお渡ししている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		要望があれば適宜支援情報を記載した資料を作成している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	こども未来センターと連携を図ろうとしている。事例検討会への参加やお子さんについての相談を相互に行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		デイサービスへ通所していることを隠しているお子さんもいるため、児童館等との交流は持たないようにしている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	西宮市通所支援事業所連絡会へ2か月に1度参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		毎回のご利用後は療育中に見られた発達の状況や課題について報告を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	今年度はイベントで保護者交流の場を設けていた。	保護者向けの研修会の開催は行っていない。就労支援等についてお知らせできる講義を専門家を呼んで開催することを検討する。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に行っている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		契約時や支援計画のモニタリングの際に意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		面談や電話で同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		主に電話で相談に応じており、要望があれば面談も行なっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3	イベントの際に保護者交流の機会を設けることができた。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	管理者に相談し、適切な対応策を打ち出し迅速に対応できている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタグラムやHPを利用し、情報発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		インスタグラムにお子さんの写真を載せる場合は契約時にSNS掲載へ同意された方の写真のみを選び顔がわからないように加工して掲載するようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者の方も含め、特性に関して職員間で共有し、誤解のないよう伝え方を配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	公園で地域のお子さんと出会った際に一緒に遊ぶこともある。	デイサービスへ通所していることを隠しているお子さんもいるため、地域住民との交流は意図的には持たないようにしている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	全てのマニュアルは全職員に閲覧できるようにファイルの場所を周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的にお子さんを含めて避難訓練を行っている。	訓練が実施されたことを保護者の方が知らない場合が多いため、お知らせの方法を検討する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1	子どもの状況についてスプレッドシートに記載しており、全職員が閲覧できるようになっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギーのあるお子さんへ料理プログラムを行う場合は事前に保護者の方へ確認をとっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全管理に必要な研修や訓練を定期的に行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		どこまで保護者の方と共有できているか把握できていない職員もいるので周知を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎日報告、方策が考えられている。 毎回の朝礼にて全員で事項を確認している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	定期的に研修が行われている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2	身体拘束について組織的に決定し、保護者へ事前説明を行い了解を得ている。		